

先行審査プラントとの補足説明資料の比較（原子炉建屋の耐震性についての計算書に関する補足説明資料）

柏崎刈羽原子力発電所 第7号機		柏崎刈羽原子力発電所 第6号機		備考 (図書構成, 評価方針及び評価結果の差異)
KK7 補足-026-1	原子炉建屋の耐震性についての計算書に関する補足説明資料	KK6 補足-026-1	原子炉建屋の耐震性についての計算書に関する補足説明資料	・共通的な差異（法改正に伴う設工認名称の適正化, 既工認の記載内容省略の文章の追記, 解析コード, 評価結果が同様な傾向の場合等）については, 備考欄への記載を割愛する。
別紙1	応力解析における既工認と今回工認の解析モデル及び手法の比較	別紙1	応力解析における既工認と今回設工認の解析モデル及び手法の比較	・差異なし
	1. 概要		1. 概要	・差異なし
	2. 応力解析モデル及び手法の比較		2. 応力解析モデル及び手法の比較	・プラント固有条件の差異（使用部材及び構造計画等の差異により, 境界条件及び非線形特性を考慮する部材に号機ごとの差異がある。）…①
別紙1-1	屋根トラス評価モデルにおける減衰について	別紙1-1	屋根トラス評価モデルにおける減衰について	・差異なし
	1. 概要		1. 概要	・記載の適正化（ビルディングレターの調査期間の更新。）
	2. 剛性比例型減衰設定の妥当性の確認		2. 剛性比例型減衰設定の妥当性の確認	・記載の適正化（7号機設工認資料「V-2-7-2-1 主排気筒の耐震性についての計算書」における指摘事項を踏まえ, 表2-1「固有値解析結果」について, 屋根トラスの評価における主要モードである鉛直方向1~3次に加えて, NS方向及びEW方向の1次を記載する方針とした。） ・プラント固有条件の差異（①に伴う固有値解析結果の差異。）
	3. レーリー減衰による影響検討		3. レーリー減衰による影響検討	・記載の適正化（先行審査プラントの指摘事項を踏まえ, 図3-3「減衰の設定方法」を追加。） ・プラント固有条件の差異（①に伴う各部材の断面の評価結果の差異。）
	4. 引用文献		4. 引用文献	・差異なし
別紙2	応力解析におけるモデル化, 境界条件及び拘束条件の考え方	別紙2	応力解析におけるモデル化, 境界条件及び拘束条件の考え方	・差異なし
	1. 概要		1. 概要	・差異なし
	2. 応力解析におけるモデル化, 境界条件及び拘束条件		2. 応力解析におけるモデル化, 境界条件及び拘束条件	・①
別紙3	応力解析における断面の評価部位の選定	別紙3	応力解析における断面の評価部位の選定	・差異なし
	1. 概要		1. 概要	・差異なし
	2. 評価部位の選定		2. 評価部位の選定	・プラント固有条件の差異（原子炉建屋原子炉区域（二次格納施設）, 二次遮蔽壁及び補助遮蔽の配置計画等による評価対象スラブ及び評価位置の差異。）…②

柏崎刈羽原子力発電所 第7号機		柏崎刈羽原子力発電所 第6号機		備考 (図書構成, 評価方針及び評価結果の差異)
別紙 3-1	屋根スラブ及び床スラブの固有振動数について	別紙 3-1	屋根スラブ及び床スラブの固有振動数について	・差異なし
	1. 概要		1. 概要	・差異なし
	2. 検討方針		2. 検討方針	・差異なし
	3. 算定諸元		3. 算定諸元	・②
	4. 評価結果		4. 評価結果	・②
別紙 3-2	屋根スラブ評価における断面評価部位の選定及び鉛直震度について	別紙 3-2	屋根スラブ評価における断面評価部位の選定及び鉛直震度について	・差異なし
	1. 概要		1. 概要	・①
	2. 最大鉛直震度		2. 最大鉛直震度	・差異なし
	3. まとめ		3. まとめ	・プラント固有条件の差異(短辺方向のスパンが最も大きい位置のスラブの差異による評価対象位置の差異。)
別紙 4	原子炉建屋の既工認時の設計用地震力と今回工認における静的地震力及び弾性設計用地震動 S d による地震力の比較	別紙 4	原子炉建屋の既工認時の設計用地震力と今回設工認における静的地震力及び弾性設計用地震動 S d による地震力の比較	・差異なし
	1. 概要		1. 概要	・差異なし
	2. 検討方針		2. 検討方針	・差異なし
	3. 検討結果		3. 検討結果	・差異なし
別紙 4-1	弾性設計用地震動 S d (曲げモーメント) による検討	別紙 4-1	弾性設計用地震動 S d (曲げモーメント) による検討	・差異なし
	1. 概要		1. 概要	・差異なし
	2. 検討方針		2. 検討方針	・差異なし
	3. 算定結果		3. 算定結果	・差異なし

柏崎刈羽原子力発電所 第7号機		柏崎刈羽原子力発電所 第6号機		備考 (図書構成, 評価方針及び評価結果の差異)
別紙 4-2	既工認時の設計用地震力	別紙 4-2	既工認時の設計用地震力	・差異なし
	1. 概要		1. 概要	・差異なし
	2. 既工認時の設計用地震力の考え方		2. 既工認時の設計用地震力の考え方	・差異なし
別紙 5	保有水平耐力の安全余裕の考え方	別紙 5	保有水平耐力の安全余裕の考え方	・差異なし
	1. 概要		1. 概要	・差異なし
	2. 既往の知見に基づく妥当な安全余裕		2. 既往の知見に基づく妥当な安全余裕	・差異なし
	3. 保有水平耐力の安全余裕の確認		3. 保有水平耐力の安全余裕の確認	・差異なし
別紙 6	大物搬入建屋の耐震性についての計算書に関する補足説明資料	二	二	・図書構成の差異 (大物搬入建屋については別途申請予定のため。) …③
別紙 7	原子炉建屋の設計体系における補助壁の取扱いについて	別紙 6	原子炉建屋の設計体系における補助壁の取扱いについて	・③
	1. 概要		1. 概要	・差異なし
	2. 既工認時における考え方		2. 既工認時における考え方	・差異なし
	3. 今回工認における考え方		3. 今回 設 工認における考え方	・差異なし
	4. まとめ		4. まとめ	・差異なし
別紙 7-1	各建屋の設計体系における補助壁の取扱い	別紙 6-1	各建屋の設計体系における補助壁の取扱い	・③
	—		1. 概要	・記載の適正化 (1. 概要を記載。) … ・表現上の差異 (7号機の補足説明資料の読み込みのため。)